

第6学年 社会科学学習指導案

1 小単元名「徳川家光と江戸幕府の政治」

2 小単元の考え方

こんな児童だから

<学ぶ意欲・態度>

本学年の児童たちは、歴史学習に対する興味・関心は高く、意欲的に学習に取り組んでいる。1学期の学習では、考えを整理する図やまとめる図のつくり方も次第に上達しており、社会的現象を追究したり調べたことを意欲的に表現したりする姿がみられるようになってきた。

<問題を解決する力>

- ・「クニができるまで」「聖武天皇と奈良の大仏」の学習では大仏の資料や大仏の手のひらの大きさを再現する体験活動をもとに、「聖武天皇は、なぜ奈良の大仏をつくったのだろう。」という学習問題をつくり、自分なりの予想をもつことができている。その際、学習問題の予想に対する交流活動を設定することによって、追究の見通しをもつことができた。
- ・「聖徳太子と法隆寺」「源頼朝と鎌倉幕府」の学習では自分の課題にそって、教科書などの文書資料やインターネットでの検索による文書資料にアンダーラインを引き、必要な情報を書き出すことはできるようになってきている。しかし、写真・グラフ・表などの資料の読み取りについては十分とは言えず、今後とも指導を要する。
- ・「信長・秀吉・家康と天下統一」の学習では十分ではないが調べたことを短い文にまとめ、図に整理したり、考えを図に表したりできようになってきている。
- ・「信長・秀吉・家康と天下統一」の学習では天下統一の MVP は誰かという課題を設定し、自分の考えを図として表現させた、そこでは「天下統一の基礎をつくった信長が MVP」「天下統一の総仕上げをした家康が MVP」など自分の考えをもち、友達と交流する姿が見られた。

<生きて働く知識（見方・考え方）>

児童たちはこれまでの歴史学習において、鎌倉幕府や室町幕府は体制を維持するために様々な政策を行ってきたという見方を持っている。そして、地理的な条件や、幕府の仕組みなどを工夫してきたことに気がついている。児童がもつこれらの見方を生かして、江戸時代をみる学習を組み立てていきたい。

こんな教材で

徳川家康や家光は、武家諸法度に代表される大名統制、慶安の御触書に代表される農民統制などの政策を行い、武士を中心とする身分制度や鎖国政策を打ち出すことで、政治体制の安定を図っていったことがわかることをねらいとしている。

鎖国（さこく）は、江戸幕府が日本人の海外交通を禁止し、外交・貿易を制限した政策のこと。また、そこから生まれた外交関係における孤立状態を指す。しかし、実際には孤立しているわけではなく、外交だけでなく貿易の権限を幕府が制限・管理した体制である。

武家諸法度の内容は、「文武の奨励、遊楽の禁止、犯罪者隠匿の禁止、謀叛人・殺害人の追放、他国人の追放、居城の修補や新造の禁止、隣国の徒党者の上訴、無断婚姻禁止、参勤作法の指示、衣装の統制、乗輿（じょうよ）の制限、儉約の奨励、家老らの人選の適正化などである。なお、武家諸法度は3代将軍家光の時代に19条となり完成した。

慶安御触書は、江戸時代、慶安2年（1649年）第3代将軍徳川家光が出されたとされる御触書で『徳川禁令考』に収録されている。百姓に対し贅沢を戒め、農業など家業に精を出すよう求めた物で、32ヶ条と奥書から成り立つ。

以上のような江戸時代の政策を中心にしながら、政治体制の安定のためにはどの政策が重要であったかという価値判断を迫る。このように、その時代の重要な政策は何か考えさせることを通して、江戸幕府が武士を中心とする、政治体制の安定を図っていったことをとらえることができる。

こんな指導構想で

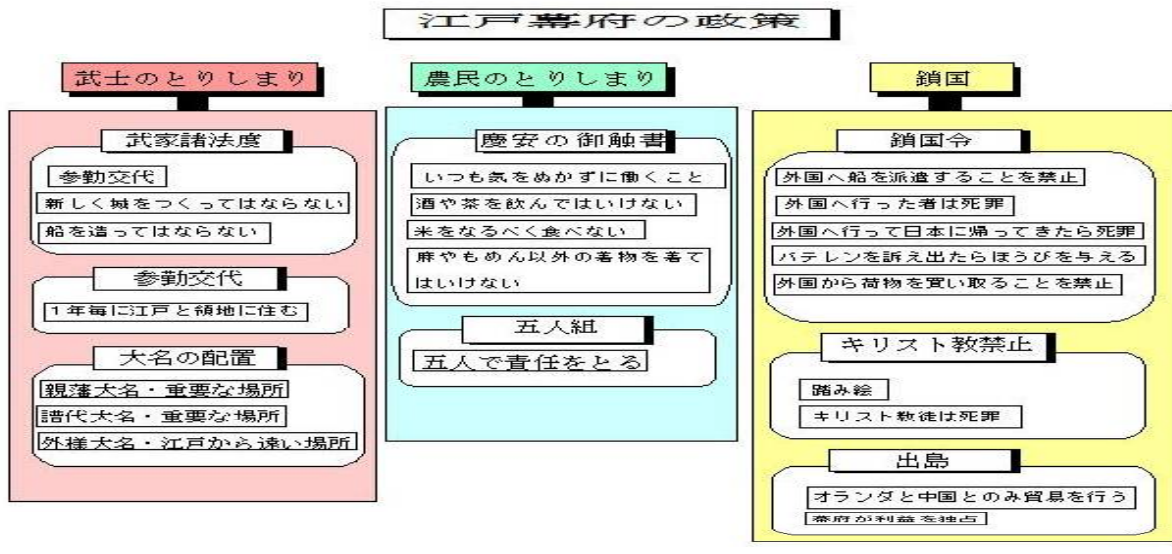
研究内容

考えをつくり、高める表現物づくり

調べた事実を整理する図

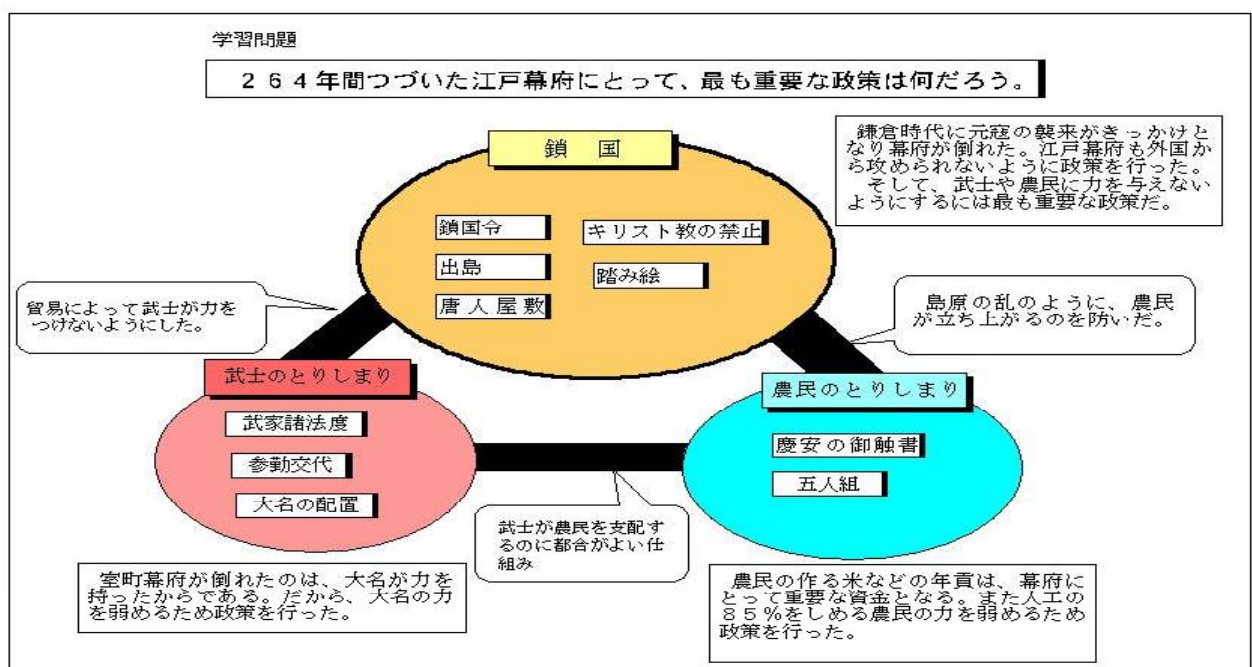
学習問題

264年間つづいた江戸幕府にとって、最も重要だった政策は何だろう？



本単元では「264年間つづいた江戸幕府にとって、最も重要だった政策は何だろう？」という学習問題をたてる。そのことによって江戸時代の様々な政策に目を向けさせる。そして、調べたことを整理する図をつくっていく。鎖国や武家諸法度、慶安の御触書などの政策がどのようなものであるか、何のために必要だったのか調べていくことによって、江戸時代の様子や特色についてとらえることができる。

考えをつくり表す図



「鎖国」「武士のとりしまり」「農民のとりしまり」という3つの視点とそれぞれの視点に含まれる政策をキーワードとして自分の考えを図に表す。このことにより、文章では表現しにくい社会的事象の関係や、全体像が表現しやすくなる。

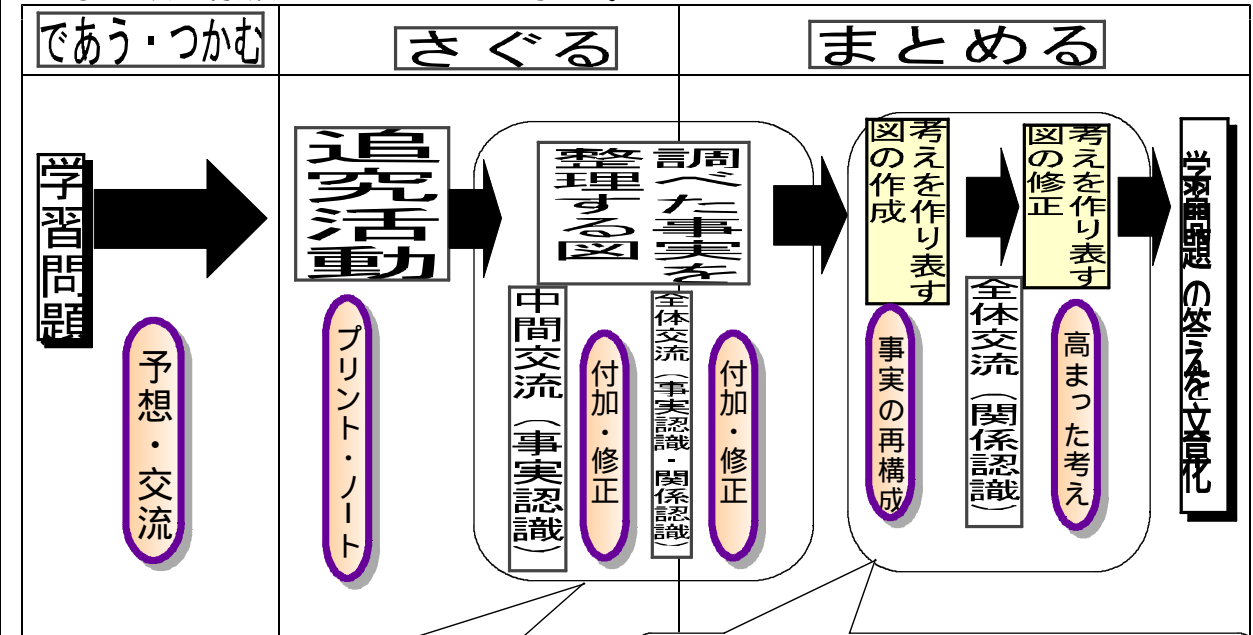
また、表現する過程において自分の考えを構築していくことができる。

さらに、交流の際には視覚的に考えをとらえることができるので、相手の考えをより確かに理解することができる。

研究内容 表現物を活用した交流活動の工夫

本小単元では、「考える力」を中心とした基礎・基本の力を育成するために、表現物とそれを活用した交流活動を下図のように位置付ける。学習問題「264年間つづいた江戸幕府にとって、最も重要な政策は何だろう。」に対する予想を考えた後、明確にされた視点をもとに追究する。調べてきた事実をもとに調べたことを整理し図（調べた事実を整理する図）に表す。

次に、その図による中間交流・全体交流を通して事実認識・関係認識を行う。その後、付加・修正された調べたことを整理する図をもとに、事実を再構成しながら自分の考えを図（考えをつくり表す図）に表し、この図を活用した全体交流を行う。交流後、考えを付加・修正する。これらを通して考える力を育成することができると思う。



児童たちは、教科書や副読本を使って、武家諸法度による大名統制や慶安の御触書に見られる農民統制、身分制度の確立、鎖国政策などの江戸幕府の政策について調べ、自分なりに「調べた事実を整理する図」をつくっている。

しかし、児童の図は十分ではないものもあり、事実認識ができていない児童もいる。

そのため、江戸幕府の政策の中の武士のとりしまり、農民のとりしまりの、鎖国の3つの視点について「調べた事実を整理する図」を使って小グループで事実認識を行う。交流においては事実の意味を確かめていく。

次に全体交流によって事実認識と関係認識を行う。そのために、次のような手だてをとっていく。

- ・児童が自分の図と比較しやすいように「大名のとりしまり」「農民のとりしまり」「鎖国」の3つの視点で児童の図を、黒板に再現する。
- ・調べた事実をカード化し操作できるようにする。
- ・3つの視点ごとに写真やグラフ、文書資料などを掲示する。

学習問題「264年間つづいた江戸幕府にとって、最も重要な政策は何だろう。」の答えを出すために、「調べた事実を整理する図」をもとに事実を再構成しながら自分の考えを「考えをつくり表す図」に表す。江戸幕府にとって最も重要な政策は何だったのか、そのわけを既習学習や、調べた事実を根拠にしながら考え、自分の考えをつくっていく。

次に、「考えをつくり表す図」を使って、全体交流を行う。ここでは、互いの考えとその根拠を発表し合い、学習問題の答えを多面的に考えることができるようにする。

そのために、次のような手立てをとっていく。

- ・考えの違いに応じてグループ化しておく。
- ・児童が調べてきた事を振り返ることができるように、それぞれの視点ごとにまとめた資料を掲示するとともに、
- ・モデルとなる「調べた事実を整理する図」も掲示しておく。
- ・それぞれの児童の考えを把握するためにカルテを作成し必要に応じて意図的に指名する。
- ・付加・修正ができよう、代表児の図を黒板に再現し視覚的にとらえられるようにする。

こんな目標と指導計画で

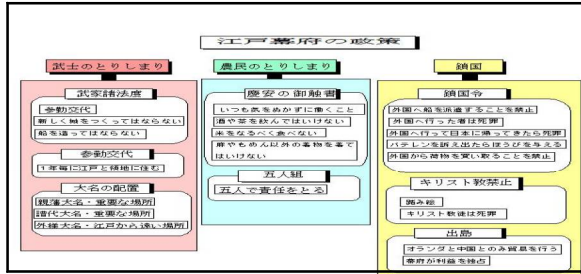
3 小単元の目標と指導計画（全13時間）

学ぶ意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府が260年以上も続いたことに関心をもち、江戸時代の様子を意欲的に調べることができる。
問題を解決する力	<ul style="list-style-type: none"> 体験活動や生活経験・学習経験などをもとに、学習問題「江戸幕府にとって、最も重要だった政策は何だろう。」に対する考えを出し合い、自分の課題をもつことができる。 (課題を発見する力)
(課題を発見する力)	<ul style="list-style-type: none"> 武家諸法度による大名統制や慶安の御触書に見られる農民統制、身分制度の確立、鎖国政策などの江戸幕府の政策について調べ多様な視点から事実を集めたり、整理したり、図にまとめたりすることができる。 (調べる力)
(調べる力)	<ul style="list-style-type: none"> 徳川家光と幕府が出した武家諸法度、慶安の御触書、鎖国令などから、権力を維持するためのきまりをつくり、様々な工夫をして守らせ、その時代を安定させようとしたことについて考えることができる。 (考える力)
(考える力)	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府にとって重要な政策についてしらべ、調べたことを、調べたことを整理する図にまとめるとともに考えをつくり表す図を使って交流することができる。 (表現する力)
生きて働く知識（見方・考え方）	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府は、大名や農民・町人が幕府にさからうことがないように厳しいきまりをつくり、キリスト教を禁止したり、外国との交流を制限したりして江戸時代を長く続けさせることができたということを理解することができる。

段階	配時	学習活動と内容	支援
つ か む	2	<p>(6)小単元名『徳川家光と江戸幕府の政治』</p> <p>1 資料から気付いたことを話し合い学習問題をつくり、予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 徳川家康・家光の肖像画 年表 家光の言葉(将軍としての力や幕府の力への自信) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">学習問題</p> <p style="text-align: center;">264年間つづいた江戸幕府にとって、最も重要だった政策は何だろう？</p> </div> <p>2 学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 副読本やよい子の社会科などの資料を使って調べる。 	<p>学習問題を作るために資料から気付いたこと、疑問に思ったことを発表させる。</p> <p>家康・家光の政策を調べる学習問題を作るために、年表から全体的な移り変わりをとらえ、信長秀吉の天下統一の時代と比べ大きな戦いがなかったことに気づかせる。また、江戸時代に行われている様々な政策について着目させおよその意味を知らせる。</p> <p>問題解決の見通しを持たせる何をどのような方法で調べるか確認する。</p>
さ ぐ る	7	<p>3 教科書、副読本、資料集等をもとに、学習問題について調べ、「調べた事実を整理する図」をつくる。</p> <p>(1)教科書・副読本・資料集などで調べ、調べた事実を視点ごとにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大名支配に対する考えと政策 農民支配に対する考えと政策 キリスト教支配に対する考えと政策 <p>(2)自分なりの「調べた事実を整理する図」をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小グループで「調べた事実を整理する図」の作成を行う。 	<p>資料をもとに、多様な視点から事実を集めることができるようにするため、信長や秀吉の政策を想起させる。</p> <p>大名を押さえるための政策・農民や町人を押さえるための政策・鎖国およびキリスト教を押しやるための政策に着目できるようにするために、3つの視点ごとに資料を掲示しておく。</p> <p>一人では十分に追究できない児童のために個人または小グループによる追究を行う。</p> <p>学習問題に必要な事実をより確かに整理するために、小グループによる事実を整理する図の交流を行う。</p>

(3) 「事実を整理する図」を使った全体交流を行う。

- 全体交流
- 代表児による発表
- 自分の事実を整理する図との比較
- 図の付加・修正



全児童が共通した事実認識を行うために、江戸幕府の政策について一つ一つ丹念に事実認識を行う。

「どのような政策なのか？」
 「その政策が幕府にとってどのような意味を持つのか？」
 児童に問い返しその際根拠となる資料を振り返らせながら具体的に話し合いを進めさせる。

関係認識を行うために、それぞれの視点に書かれた事実どうしのつながりについて吟味する。

4 事実を整理する図をもとに事実を再構成して「考えをつくり表す図」をつくる。

- 江戸幕府の政策の中で最も重要な政策は何か、答えを図にあらわす。
- 最も重要だと思う視点（政策を）中央にかく。
- それぞれの視点の意味について書き入れる。
- 最も重要な政策だという根拠を書き入れる。

5 それぞれの考えを発表しあい、その根拠の妥当性やよさについて話し合う。

(1) 「考えをつくり表す図」を使った全体交流を行う。

- 代表児による発表
- 自分の図との比較
- 考えの交流



武士のとりしまりが最も重要と考えた理由
 農民のとりしまりが最も重要と考えた理由
 鎖国政策が最も重要と考えた理由

(2) 最終的な自分の考えについて発表する。

- 江戸幕府にとって最も重要な政策は鎖国である。
- 江戸幕府にとって最も重要な政策は大名統制である。等

6 自分の考えを図を活用して文章に表現する。(例)

江戸幕府は、武士を中心とする身分制度や鎖国政策を打ち出すことで、政治体制の安定を図っていった。だからこそ、264年もの長い間江戸時代は続いた。
 その中でも、鎖国が最も重要な政策であった。なぜならば、これまでの歴史の中では元の襲来によって、幕府が倒れた。外国の影響を受けず、政治を行ったからこそ江戸幕府は、長く続いた。

「考えをつくり表す図」を全員が作るために、同じ考えを持つ児童でグループを作り互いに検討しながら活動させる。

なかなかかけない児童のために、図のかきかたについては事前に指導しておくと同時に追究の段階で個別に指導していく。

自分なりの考えを伝え合い、お互いの考えをより確かなものにするために、説明の際は自分がもっと大切であると考えた理由を中心に発表させる。

どの子の発表も視覚的に捉えることができようするために代表児の図は拡大し黒板に掲示できるようにする。

なぜそう考えたのか分かりやすくするために、必要に応じて掲示した資料を指しながら説明させる。

交流後は、時間をとり最終的な自分の考えを「考えをつくり表す図」に付加・修正する

「今日の学習で」代表の子ども数名に自分の考えを発表させる。

- 考えが変わったところとその理由
- 考えが変わらなかったその理由

最終的な考えを、文章化させまとめさせるために、全体交流によって修正された「考えをつくり表す図」を活用させる。

本時
ま
と
め
る

4 本時 考えをつくり表す図を使った全体交流（12 / 13）

社会科研究室

5 本時の目標

江戸幕府にとって最も重要だった政策は何か、大名のとりしまり、農民のとりしまり、鎖国政策の3つの視点をもとに考えることを通して、幕府は権力を維持するための様々な政策をつくり、武士を中心とする、政治体制の安定を図っていったことをとらえることができる。（考える力）

6 本時指導の考え方

児童は前時まで、教科書や副読本を使って、武家諸法度による大名統制や慶安の御触書に見られる農民統制、身分制度の確立、鎖国政策などの江戸幕府の政策について調べ、自分の考えを「考えをつくり表す図」として表している。

本時は、江戸幕府の政策について考えをつくり表す図を使って、最も重要だった施策は何かについて考えていく。そのために、特に次のような手立てをとっていく。

(1) 図を活用し、考えを付加・修正し、高める交流の工夫。

カルテの活用

児童の図をもとに、江戸時代の政策重要性をどのように考えているのかを把握し、カルテとして活用していく。

自分の考えの根拠となる事実を問う発問

「武士のとりしまり」「農民のとりしまり」「鎖国」という3つの視点について、児童が重要性が高いと考えた理由について、

「なぜそう考えたのか？」

「その考えの根拠となる事実は何か？」

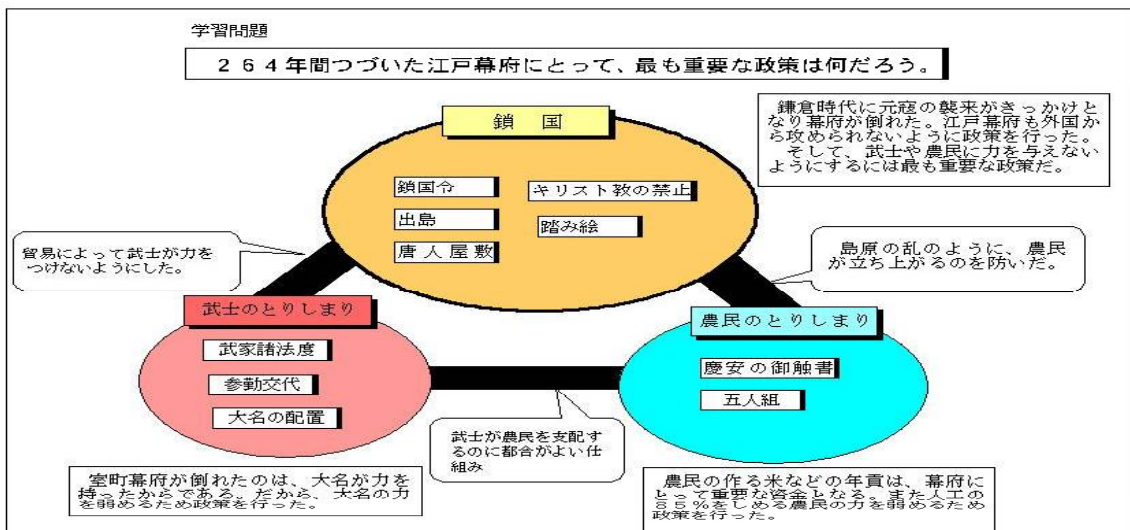
新たな資料の提示による問い返し。

交流の後半に、江戸時代初期の詳しい年表を提示することによって、見る角度を変えて時系列による順序性と政策がうち出された回数から自分の考えを再度見直すことができるようにする。

- ・政策が打ち出された時期が早いものが重要と考えられるのではないか。
- ・長い時間をかけて完成した政策が重要と考えられるのではないか。
- ・短期間に何度も出されている政策が重要と考えられるのではないか。

板書

めあて 学習問題の答えについて話し合い、自分の考えを見なおそう。



(2) 考えを比べたり、つなげたりして交流できる場の構成。

一緒に調べ学習をしてきた児童同士でグルーピングし、全体交流を行う。事実認識を行う上で必要となる資料は拡大して掲示しておく。

7 本時の展開

学習活動と内容	支援・留意点
<p>1 前時の学習をふり返り，本時のめあてを 確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>— 学習問題 —</p> <p>江戸幕府にとって，最も重要だった政策は何だろう？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>— めあて —</p> <p>学習問題の答えについて話し合い，自分の考えを見なおそう。</p> </div> <p>2 代表児の図をもと3つの視点の，それぞれの政策について，どれが重要か話し合う。</p> <p>(1) 代表児が自分の図をもとに，考えを発表する。</p> <p>鎖国政策が最も重要と考えた理由</p> <p>「鎌倉幕府が滅びたのは，元が攻めてきたことによるものだ。また，信長が貿易によって鉄砲を手に入れて，天下を取る足がかりにした事から，幕府は外国からの影響を最も恐れていたから，鎖国が最も重要と考えた。」</p> <p>鎖国政策 キリスト教の禁止 鎖国令・出島での貿易</p> <p>「平等の教えでは日本はまとまらない」 「日本人が外国に行くことを禁止し，貿易も制限したので幕府の力が大きくなった。」</p> <p>(2) 自分の図と比較しながらの検討を行う。 説明に対する質問。 付け加え，修正はする点はないか。</p> <p>武士のとりしまりが最も重要と考えた理由</p> <p>「室町幕府が倒れたときは，大名が力をつけ，戦国時代になり，倒れたから武家諸法度等の政策によって，武士の力を弱めることが最も重要だと考えた。」大名統制 武家諸法度・・・参勤交代・大名の配置 「参勤交代によって大名の力を弱めた」 「大名の配置によって幕府の支配体制を固めた」</p> <p>農民のとりしまりが最も重要と考えた理由</p> <p>「農民の人口は全体の85%にもなり，幕府は農民が団結して一揆などをおこすことを恐れていた。また，農民が作る米は幕府にとってお金かわる最も重要なものだったから，農民の抵抗を防ぎ，年貢を取ることが最も重要だと考えた。」</p>	<p>それぞれの発表の際，イメージを豊かにふくらませるために，これまでの学習で活用してきた資料を掲示しふり返ることができるようにする。</p> <p>どの子の発表も視覚的に捉えることができるようにするために代表児の図を，黒板に再現する。</p> <p style="text-align: right;">考える力(比較・関連)</p> <p>自分のつくった図について分かりやすくする説明するために，掲示した資料を指しながら説明させる。</p> <p style="text-align: right;">発表する力(説明力)</p> <p>これまでに児童が調べてきた事が振り返り事実を確認できるようにするために，資料を掲示しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「貿易の独占によって幕府の経済力を高め，大名の経済力が高まるのを防ぐ。」 「いって都合の悪い考えや文化が入ってくるのを防ぐ」 「大名への外国の武器の輸入を防ぐ」 「外国の政治介入を防ぐ。」</p> </div> <div style="background-color: #e0ffff; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発表後の交流活動を活発に行わせるために，疑問点や，相違点などについて話し合う。</p> <p style="text-align: right;">考える力(比較・関連)</p> </div> <p>交流を焦点化するために，政策の目的を経済力に関する事，武力に関する事等にわけながらまとめていく。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「武士の経済力を弱める。」 「武士の武力を弱める。」 「武士による抵抗を防ぐ。」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「人口が最も多い農民の抵抗を防ぐ。」 「年貢の取りこぼしをなくし幕府の経済力を高める。」</p> </div>

・農民統制 慶安の御触書
「農民を厳しくとりしまった」
「年貢を確実にとる仕組みを作った」
身分制度 士農工商・差別された人々
農民は人工の85%
「幕府の支配体制を固めた」

- (3) 新たな資料として年表を提示し、見る角度を変えて時系列による順序性から政策がうち出された回数自分の考えを再度見直す。
- ・政策が打ち出された時期が早いものが重要。
 - ・長い時間をかけて完成した政策が重要。
 - ・短期間に何度も出されている政策が重要。

3. それぞれの発表をもとに、「考えをつくり表す図」の付加修正を行う。
- ・自分の図に付け加え、削除を行う。

4. 今日の学習について発表する。
例

江戸幕府は、武士を中心とする身分制度や鎖国政策を打ち出すことで、政治体制の安定を図っていった。だからこそ、264年もの長い間江戸時代は続いたのだと思いました。

自分の考えを見直させるために、江戸時代初期の詳しい年表を提示する。

交流後は、時間をとり最終的な自分の図の修正をする。

考える力(比較・関連)
表現する力(かき表す)

「今日の学習で」代表の子ども数名に発表させ学習のまとめにする。

- ・考えが変わったところとその理由
- ・考えが変わらなかったその理由

発表する力(説明力)